

2016年度 日本学生自転車競技連盟 大会参加基準

20160312 版

※トラック

日本学生自転車競技連盟の主催する選手権大会へは、男子選手(補欠選手も含む)については下記の参加基準を公認大会記録により満たす者のみの参加を認める。公認大会記録とは、JCF 公認の最少3名の2級以上の審判員が参画して行われる公認大会・記録会での公式記録をいう。

新人戦、記録会、TRS等、選手権大会でない大会はこの参加基準の対象外とする。

参加基準は、年度当初に個票に登録された記録、および当該大会エントリー期限前に提出された公認記録申請書に記載された記録により判定する。本連盟主催大会以外の大会記録での公認記録申請にあたっては、証憑(リザルト又は賞状の写し等)の添付を必要とする。

1. 選手権大会トラックレース参加基準

A基準 - 下記に示す種目について、それぞれ該当種目のタイムを達成していること。

フライング 200m	11秒50以内
1kmT.T.	1分11秒00以内
4kmI.P.	5分04秒00以内
(1年生については、	3kmI.P.換算3分46秒50以内)

B基準 - ポイントレース、マディソン、ケイリン、スクラッチ、タンデム、TSP、TP その他の種目については、下記に示すB基準のうち一つ以上を達成していること。

- ・フライング 200m 12秒50以内
- ・1kmT.T. 1分15秒00以内
- ・4kmI.P. 5分25秒00以内
- (1年生については、3kmI.P.換算3分58秒50以内)
- ・トラック・ポイントレースシリーズ クラス2以上のもの

※ロード

- 選手権大会ロードレース(全日本大学対抗選手権、全日本学生選手権個人ロード、全日本学生選手権個人ロードTT)については、下記条件を満たしている者
 - ・エントリー時点において当年度ロードカテゴリ・クラス1の者、およびクラス2の者のうち、大会要項で定めた基準、学校毎の人数枠を満たすもの。
 - ・理事会から推薦を受けた者。
- 全日本学生選手権クリテリウム大会
 - ・エントリー時点において当年度ロードカテゴリ・クラス1の者、およびクラス2の者。
 - ・理事会から推薦を受けた者。
- 全日本学生選手権チームロードタイムトライアル
原則として特に制限しない。ただし、大会特別規則により参加基準を設けることがある。
- 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ(RCS)
大会要項により指定した各カテゴリ(1~3)に参加できる。

以上

2016年度 学生ランキング・ポイント配点表

20160312版

・トラックランキング

順位	1	2	3	4	5	6	7	8
全日本大学対抗選手権	25	20	16	14	12	10	8	7
全日本学生選手権	20	15	12	10	8	7	6	5
東/西日本学生選手権	12	10	8	6	5	4	3	2
修善寺カップ女子オープン・トラック	16	12	10	8	7	6	5	4

注：個人種目にのみ配点される。一つの大会で複数種目のポイント対象順位であったとしても、全日本大学対抗選手権では上位の2種目、それ以外の大会では上位の1種目のみの得点を配点する。

・ロード選手権ランキング

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11 20	21 30	31
全日本大学対抗選手権	50	40	33	28	24	20	16	13	10	7	4	3	2
全日本学生選手権個人ロード	33	28	24	19	16	13	11	9	7	5	3	2	1
全日本学生選手権クリテリウム	20	16	13	11	9	7	6	5	4	3	1	-	-
全日本学生選手権個人ロード TT	20	16	13	11	9	7	6	5	4	3	1	-	-
修善寺カップ女子オープン・ロード	26	22	19	15	13	10	9	7	6	4	2	2	1

・ロードレース・カップ・シリーズ (RCS)

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	完走
クラス1	30	24	20	18	16	14	12	10	8	6	-	-	-	2
クラス2	20	16	13	12	11	9	8	7	5	4	-	-	-	2
クラス3	15	12	10	9	8	7	6	5	4	3	-	-	-	1
最終戦 明治神宮外苑クリテ	上記各クラス毎配点の2倍													

- 注1：ポイントランキングは、毎年4月1日に0点からスタートし、3月31日に終了する。
 注2：ロードレース・カップにおいて、昇格者は既獲得済みポイントを持ったまま移行する。
 注3：クラスを混合し同時発走で行うレースでは、高位のクラスの配点により得点を付与する。
 注4：学連登記選手以外のオープン参加者のある大会において、オープン参加者が得点対象順位に入った場合でも、それより下位の学連選手の順位繰上は行わず、リザルト上の順位に従って得点を付与する。

・トラックレース・シリーズ (TRS)

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位~
1	20	16	12	10	8	6	4	2	0
2	10	8	6	5	4	3	2	1	0
3	5	4	3	2	1	0	0	0	0
女子	20	16	12	10	8	6	4	2	0

- 注1：ポイントランキングは、毎年4月1日に0点からスタートし、3月31日に終了する。
 注2：トラックレースシリーズにおいて、昇格者は既獲得済みポイントを持ったまま移行する。
 注3：クラスを混合し同時発走で行うレースでは、高位のクラスの配点により得点を付与する。
 注4：学連登記選手以外のオープン参加者のある大会において、オープン参加者が得点対象順位に入った場合でも、

それより下位の学連選手の順位繰上は行わず、リザルト上の順位に従って得点を付与する。

2016年度ロード・カテゴリ

20160312 版

・クラス 1	<p>①前年度又は当該年度の日本学生自転車競技連盟の下記選手権大会ロードレース 10 位以内入賞経験者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全日本学生選手権クリテリウム ・全日本学生選手権個人ロード TT ・全日本学生選手権個人ロード ・全日本大学対抗選手権ロード <p>②前年度又は当該年度のチームロード上位 3 位以内の正選手（4 名）</p> <p>③前年度又は当該年度全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ（以下 RCS）各ラウンドクラス 2 優勝者（クラス 1 + 2 のレースの場合は、クラス 2 の最上位者）</p> <p>④前年度クラス 1 の者で前年度 RCS 各ラウンドクラス 1 での 3 位以内の入賞者（クラス 1 + 2 のレースもクラス 1 のみの順位ではなく総合 3 位以内）</p>																						
・クラス 2	<p>①前年度又は当該年度の</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 80%;">・全日本学生選手権クリテリウム</td> <td>決勝完走者</td> </tr> <tr> <td>・全日本学生選手権個人ロード TT</td> <td>50 位以内の者</td> </tr> <tr> <td>・全日本学生選手権個人ロード</td> <td>50 位以内完走者</td> </tr> <tr> <td>・全日本学生選手権チームロード</td> <td>10 位以内の正選手（4 名）</td> </tr> <tr> <td>・全日本大学対抗選手権ロード</td> <td>50 位以内完走者</td> </tr> </table> <p>②前年度 RCS 各ラウンドクラス 1 の 3 位以内入賞者を除くクラス 1 およびクラス 2 の者で、前年度の RCS を完走した者</p> <p>③新 1 年生は高校在学中において下記の成績をおさめた者</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 80%;">・国体ロード</td> <td>10 位以内</td> </tr> <tr> <td>・インターハイ個人ロード</td> <td>20 位以内</td> </tr> <tr> <td>・高校選抜ロード</td> <td>10 位以内</td> </tr> <tr> <td>・全日本ロードレース・ジュニア</td> <td>10 位以内</td> </tr> <tr> <td>・全日本ステージレース in いわて</td> <td>総合 10 位以内</td> </tr> <tr> <td>・全日本個人ロードタイムトライアル</td> <td>5 位以内</td> </tr> </table> <p>④前年度又は当該年度の RCS-クラス 3 レース各日出走者のうち、学連登記選手の上位 5%（小数点以下切上げ）を目処としてレースごとに定められる 2～6 名（完走しなかった者を除く）の昇格者（他クラスと混走の場合はクラス 3 学連登記選手の 5%を基準に昇格者数を定める。）</p>	・全日本学生選手権クリテリウム	決勝完走者	・全日本学生選手権個人ロード TT	50 位以内の者	・全日本学生選手権個人ロード	50 位以内完走者	・全日本学生選手権チームロード	10 位以内の正選手（4 名）	・全日本大学対抗選手権ロード	50 位以内完走者	・国体ロード	10 位以内	・インターハイ個人ロード	20 位以内	・高校選抜ロード	10 位以内	・全日本ロードレース・ジュニア	10 位以内	・全日本ステージレース in いわて	総合 10 位以内	・全日本個人ロードタイムトライアル	5 位以内
・全日本学生選手権クリテリウム	決勝完走者																						
・全日本学生選手権個人ロード TT	50 位以内の者																						
・全日本学生選手権個人ロード	50 位以内完走者																						
・全日本学生選手権チームロード	10 位以内の正選手（4 名）																						
・全日本大学対抗選手権ロード	50 位以内完走者																						
・国体ロード	10 位以内																						
・インターハイ個人ロード	20 位以内																						
・高校選抜ロード	10 位以内																						
・全日本ロードレース・ジュニア	10 位以内																						
・全日本ステージレース in いわて	総合 10 位以内																						
・全日本個人ロードタイムトライアル	5 位以内																						
・クラス 3	①クラス 1 およびクラス 2 以外の者																						

2016年度トラックレース・シリーズ・カテゴリ

20160312 版

・クラス 1	<p>①前年度クラス 1 の者</p> <p>②当該年度の日本学生自転車競技連盟の下記選手権大会 8 位以内入賞経験者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全日本学生選手権トラック ・全日本大学対抗選手権トラック <p>③前年度又は当該年度シリーズ各戦クラス 2 の優勝者</p>
・クラス 2	<p>①選手権大会トラックレース参加 B 基準を達成している者</p> <p>②前年及び当該年度シリーズ各戦のうち 10 人を超えるクラス 3 の優勝者</p> <p>③前年度クラス 2 の者で、前年度 TRS ポイントレース当該クラスを完走した者</p>
・クラス 3	<p>①クラス 1 およびクラス 2 以外の者</p> <p>（シリーズ各戦のうち参加者が 10 人を超えるクラス 3 での優勝者には参加 B 基準達成者と同等と認め、選手権大会の参加を認める）</p>

(目的)

日本学生自転車競技連盟憲章によれば、連盟を代表して参加する大会の選手・役員は評議員会にて決定されることとなっている。例年、欧州遠征事業派遣、ツール・ド・北海道、日韓学生対抗へ代表選手・役員を派遣しており、全日本自転車競技選手権大会トラックレースには学連推薦にてチーム種目への出場枠が与えられている。

しかし、年間2回程度行われている評議員会で上記大会すべての代表を決定するのは、日程的に無理があるため、下記の通り指針を定め決定プロセスの明確化を図るものである。

(決定機関)

実務的に評議員会の開催を待つて派遣可能な大会に関しては、評議員会において代表を決定する。

評議員会の開催時期が代表決定時期と整合しない場合、評議員会はその決定権を理事会に委譲し、評議員会に事後報告するものとする。

年度当初に予定されていなかった大会への派遣選手選考等、理事会開催時期と整合しない場合、選考委員会にて下記選考基準に準じて決定し、理事会・評議委員会に事後報告する。

(選考プロセス)

- ・理事長は、理事長、専務理事、審判委員会委員長、総務企画委員長、強化普及委員長、選考大会チーフコミッセルからなる選考委員会を組織する。選考委員会委員長は理事長とする。
- ・選考委員会は代表候補者の選考順位を付した「ノミネート・リスト」を作成する。「ノミネート・リスト」は、選考委員会開催後ただちに公表する。
- ・選考委員会は、当事者に選考結果を連絡し、辞退者のある場合は繰り上げ措置をとって実質的に派遣されうる「代表団リスト」を作成し、評議員会もしくは理事会に答申する。
- ・評議員会または理事会は、選考委員会の答申に基づき、代表団を正式決定する。

(選考基準)

選考は、選考委員会メンバーの合議によるが、以下を指針とする。

- ・ 欧州遠征事業派遣 (3名)
 - ・ U23カテゴリーに該当する年齢の競技者の中で、年度当初に参加意思を表示した者の中から選考する
 - ・ 当年の全日本学生選手権個人ロードレース上位1名
 - ・ 学連登記3年以内のクラス1及び2の選手で、当年の全日本学生選手権個人ロードレース開催日時点でのロードレース・カップ・シリーズ総合獲得得点上位2名
 - ・ 上記両分野の選考が同一人物の場合、ロードレース・カップ・シリーズ次順位の者を繰り上げる
 - ・ 辞退者あった場合、辞退者の選出分野の次点者を順次繰り上げる
- ・ ツール・ド・北海道
 - ・ 前年度全日本大学対抗選手権ロード部門総合順位、当年全日本学生選手権個人ロードのその学校での上位3名の順位計による大学順位、当年全日本学生選手権チームロード順位の合計数が小さいものを優位とする
 - ・ 前年度全日本大学対抗選手権ロード部門総合順位無しの場合は、順位のある最低位の数+1とする
 - ・ 全日本学生選手権個人ロードで完走者が3名に満たない場合、完走者の最下位の順位+1を非完走者1名分の順位としてカウントする
 - ・ 順位合計同数のチームがあった場合、当年全日本学生選手権個人ロードのその学校での最上位者の順位による。
 - ・ なお選考委員会は必要と認める場合、選考される最下位のチームと、次点となるチームに、混成チームの結成を勧告することができる
- ・ 日韓学生対抗
 - ・ 原則として、実施種目の当年全日本大学対抗選手権トラック優勝者とする。辞退者あった場合に備え、選考委員会は全日本大学対抗選手権トラック2位以降・当年学連ランキング・主要大会の実績に基づき、優先順位付ノミネート・リストを作成する
- ・ 全日本自転車競技選手権大会トラックレースのチーム種目
複数校の選手からなる学連選抜チームを編成する場合は、参加意思を表示した者の中から選考会を行い選考する

以上